

早稲田文化人類学会 特別研究会

院生から次の展開へ:文化人類学者というキャリアの進み方

趣旨と概要:研究者になる道が険しいことばかり喧伝される昨今ですが、では実際にそのプロセスはどのようなもので、どうすればいいのか。大学院生数が減少傾向にある現在、それを示してくれる先輩研究者もなかなかいないのが実状です。本企画では、キャリアの比較的初期の段階にある研究者が、そうした「実際のところ」の見通しをつけられるようにすることを目的とします。本企画では、3つのテーマについて登壇者が情報共有し、参加者からの質問に答えます。

日時:2019年2月10日(日)10:30-12:30

場所:東京大学駒場Iキャンパス(京王井の頭線駒場東大前駅すぐ)

18号館4階 コラボレーションルーム1

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_17_j.html

おもな対象:文化人類学やその近接領域で研究に携わる大学院生~ポスドク

内容:

- 1)研究の継続のために(教育歴をつける、助成金を得る)
- 2)成果を公表する(雑誌投稿、単著出版助成)
- 3)ライフイベント(とくに出産・育児)

登壇者:碓陽子(明治大学/早稲田文化人類学会編集企画委員会)、木村周平(筑波大学)、門田岳久(立教大学)

*参加費:500円(資料代)、ただし早稲田文化人類学会員は無料

*申し込み不要。定員無し。